

○ 平成23年度 風力発電の受付概要について

(1) 受付規模

受付区分 (出力※ ¹ 等)	必要な下げ代・ 周波数変動対策	受付量※ ²	備 考
[実証試験対象] 大規模風力 (出力制御型) (出力2000kW以上 特別高圧連系)	さ しろ 下げ代不足時の 遠方指令による 出力制御※ ³	20万kW	・23年度から設けた新しい区分です。 ・最大で24万kW程度を抽選で受け付けます。 (受付量※²を跨ぐ案件まで、24万kWを超過しない範囲で受付)
[通常型] 大規模風力 (出力2000kW以上)	さ しろ 下げ代不足時の 発電停止※ ⁴	3万kW	・[実証試験対象]の大規模風力(出力制御型)との併願が可能です。
[通常型] 中規模風力 (出力20kW以上 2000kW未満)	さ しろ 下げ代不足時の 発電停止※ ⁴	2万kW	・最大で2.2万kW程度を抽選で受け付けます。 (受付量※²を跨ぐ案件まで、規模縮小せず受付)
[蓄電池等併設型] 出力変動緩和制御型風力 (出力2000kW以上)	出力変動緩和 制御※ ⁵	5万kW	・最大で10万kW程度を抽選で受け付けます。 (受付量※²を跨ぐ案件まで、規模縮小せず受付)

※1 1地点における風力発電機の定格出力の合計。

※2 新たに当社電力系統に連系する風力発電機の定格出力の合計とします。

※3 電力需要の少ない夜間などにおいて、それ以上電力供給量を下げることができず、需要と供給を一致させることが困難になると想定される場合(下げ代不足時)に、当社からのオンラインによる遠方指令により風力発電の出力を制御していただきます。

※4 実証試験対象設備の運転開始後については、実証試験による効果を期待しても下げ代が不足する場合において、電力系統への電力流入(逆潮流)があるものは、発電を停止していただきます。

※5 蓄電池等の出力制御により、風力発電の出力変動を緩和していただきます。

(2) 系統連系候補者の決定方法

抽選により、系統アクセス検討(系統連系候補者の選定にあたって事前に行う技術検討)の実施順序を決定します。抽選順位が上位の申込案件より順に、申込者と技術検討結果について協議を行い、協議が整った申込者を系統連系候補者とします。

以 上